

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	Harmony一関			
○保護者評価実施期間	令和7年12月18日		～	令和7年12月26日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	22ご家庭	(回答者数)	22ご家庭
○従業者評価実施期間	令和7年12月18日		～	令和7年12月26日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	7名	(回答者数)	7名
○事業者向け自己評価表作成日	令和8年1月23日			

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	新規のお子様や初見のお子様がすぐに馴染むことのできる環境作りを行っている。既存のお子様も楽しみに通所されている。相談支援員さんを通じて、行事予定表やInstagramの発信を行い、活動内容を共有し、案内することができている。	事業所内の装飾を凝ったり、楽しそうな空間の中での活動提供を心掛けている。 また、日々のお子様からのお声や、現在流行っているものをリサーチしながら活動に組み込んだり、取り入れられる範囲で興味・関心のあるものの活動提供に繋げている。	低学年と高学年が混在しているため、活動を分けてみては？と保護者様よりお声があるように、年齢層がまばら、低学年の層が多いため中高生でも楽しく活動に参加できるよう、選択活動を取り入れ、選択肢を設け自己選択・自己決定を促していく。
2	安心して活動参加に繋がるよう、お子様の特性に応じた場面对応を徹底している。特に音や他児の声が苦手なお子様もおられるため、プレイルーム、キッチン、個室を使い分けながら環境に配慮して対応している。	お子様同士の相性や直近の関わり方をミーティング等で共有し、トラブルに防止に努めている。また、マンツーマン児童については誰が対応するかを予め決めておき、臨機応変な対応もできるよう職員配置等も配慮して支援にあたっている。	職員一人一人が広い視野を持ち、小さな異変や変化に気づいて行動できるよう、ミーティング時に保護者様からの発信や学校からの申し送りをしっかり共有し、責任を持った対応、発言等を徹底する。
3	保護者様、相談支援員さんと情報共有を密に行い、状況把握をこまめに行っている。定期的なモニタリングはもちろんのこと、その他に気になることがあれば、お互い周知し、課題解決に向けた話し合いの場を設けている。	ご自宅、学校、事業所と様々な環境下で過ごされているため、情緒が乱れた背景などそのままにせず、解決に結びつくようしっかり情報収集を行い、原因を明確にし解決できるよう努めている。	関わった職員が責任を持ち、申し送りや共有事項を疎かにせず、しっかりと周知することでお子様方が安心・安全に通所できる環境整備を行う。
	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	放課後児童クラブや児童館との交流が中々できない。	同年代のお子様同士の相性やご家庭のお声も受け、リスクを考慮してお子様同士の合同活動といった企画に移せていない現状。同じ地域内での交流が難しい分、法人内の他地域との交流にてゲームで繋がって一緒に遊ぶといった企画は行っており、お子様同士で楽しくコミュニケーションを図りながらできているため今後も取り入れていきたい。	地域と関わる楽しさを学ぶことのできる企画や協力していただける資源を模索し活動の幅を広げていきたい。
2			
3			

保護者向け 放課後等デイサービス評価表（集計結果公表）

一般社団法人青葉の杜 Harmony一関

配布：22枚 回収：22枚 回収率：100%

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	無回答	合計	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・ 体制 整備	1	子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	19	3			22	中高生などの活動出来る場所があると良いかと。(小学生組と別に)	活動内容に合わせて場所の割り振りや体育館使用時は半分半分で分かれて安全確保に努めております。次年度に向けて選択活動を予定しており、お子様方の年齢に合わせた環境での活動提供に努めて参ります。
	2	職員の配置数や専門性は適切であるか	18	4			22	・こちらは十分だと思いますが、職員さんの負担という意味で足りているのかなと感じます。 ・専門性あると思いますが個々に対する対応をもう少し考えてほしい。(障がい特性別として)	低学年、中高学年でつく職員を予め決めてデイを迎えております。体調不良や送迎時など手薄になる時間がある際は、活動の進め方や内容を少し変えるなど工夫し、お子様の安心安全なご利用に努めて参ります。
	3	事業所の設備等は、スロープや手すりの設置などバリアフリー化の配慮が適切になされているか	15	7			22	きちんと見ていないのでわかりません。	スロープや手すりなど明確な設置は行っておりませんが、気持ちを言葉で伝えることが難しいお子様へ対して絵カードやポスターなど視覚支援を取り入れ配慮しながらの支援に努めて参ります。
適切な 支援の 提供	4	子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画が作成されているか	22				22		
	5	活動プログラムが固定化しないよう工夫されているか	20	2			22	・TIKTOK音楽で踊ろう！等、新しい企画を随時取り入れて下さり、助かっております。 ・工夫されていると思うが、小学生組が多い為、中高生の活動内容が少し合わないのでは。	マンネリ化を防ぐためにも、今流行の物をリサーチしながら取り入れることで、お子様方に楽しんでもいただけるような活動を企画しております。 また、学年に合わせて難易度や工程の緩和などその都度配慮しながら活動提供を行って参ります。
	6	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	12	8	2		22	・私個人としてはそれほど必要性を感じません。 ・よそとの交流は記憶にないです。	ACミレグリアさんの活動ではチーム所属のお子様や選手の方のお子様など昨年度より交流する機会が増え、お子様方の刺激になっております。児童クラブのお子様と相性が悪く自事業所を利用しているお子様も複数名在籍しているため、調整が難しいのが現状ですが、活動の幅が増えるよう良い案を模索して参ります。
	7	支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	21	1			22		見学・契約時に説明させていただいております。疑問・質問等あればお問い合わせ対応を行って参ります。
	8	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解ができているか	21	1			22		普段のお迎え時の申し送りは対応した職員が責任を持ってお伝えしております。また、モニタリング時にも保護者様、関係機関の方と情報を共有し支援を行って参ります。
	9	保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか	22				22		

保護者への説明等	10	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか	7	10	5		22	個人的にはなくて大丈夫です。 ・ご家庭によるが、年に1度位は、昨年度はフットサル交流もあり、以前のハーモニーではハーモニー大運動会の開催もあり親子で参加などの交流があったり交流の機会があつて良いのでは？	外部との関わりの中でお子様方から人気、保護者様から認知度が高いACミレグリアさんとの親子レクの企画は進めております。年に1度だけでなくシーズン毎に行うことでご家族単位での楽しみを設けております。また、他事業所でも親子レク・懇談会を行っている所もあるため、様子を聞きながら簡単な交流会も検討して参ります。
	11	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知・説明し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	17	5			22	・クレーム状況がわからない。 ・苦情があったかわからない。	普段より、予定変更や活動内容など事前に詳細をお伝えし、当日の混乱を招かないよう徹底しております。また、アレルギー対応として職員間で把握しながら材料などの写真を撮って確認するなど、活動参加する際の注意点にも配慮しながら活動提供を行って参ります。
	12	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	21	1			22		
	13	定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信しているか	18	4			22	HP(ハーモニー全体の)は拝見しますが、他の事業所では、日々の活動をどんどん掲載しているようだが、一関のUPが少なく、活動時の子供達の様子を見る事が出来ないと思う。以前、ハーモニー一関新聞みたいな物があり、子供達の普段ハーモニーで過ごしている様子をまとめた新聞発行したりで親達は楽しかったです。(個人情報でお顔を写すのはNGと言う事もあると思いますが)	新たな試みとしてInstagramの開設を行っております。ブログとの差別化として、更新頻度であったり、日頃の活動風景などの発信を行い、お子様方の様子が見れるきっかけ作りを行って参ります。
	14	個人情報に十分注意しているか	21	1			22		個人情報は書庫・金庫にて施錠しながら保護を徹底しております。
非常時等の対応	15	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、保護者に周知・説明されているか	17	5			22		時期に関わらず、手洗いチェッカーを活用して手洗いの重要性を視覚的要素を取り入れながらお子様方と一緒に感染症対策を活動として取り入れております。その様子などを玄関前に掲示し保護者様へお伝えしております。
	16	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか	21		1		22	避難訓練はしていないそうです。	定期的に避難訓練を行っておりますが、その発信が全家庭に伝わっておらず申し訳ございません。その様子は玄関先に写真にて掲示し、新一年生のご家族様は事業所での避難訓練は初めてのため具体的な説明やご案内など配慮致します。また、職員だけでなく、消防署の方をお招きして模擬消化なども体験しお子様方の意識付けを行っております。また、避難経路と一緒に確認し実際歩いて移動してみるなど訓練活動も取り入れております。

満足度	17	子どもは通所を楽しみにしているか	21	1			22	<ul style="list-style-type: none"> <li>・毎回楽しみにしています。</li> <li>・ハーモニーは居場所と思って楽しみに通所してます。でも、活動の内容で、時折行き渋りがある時がある。もう少し中高生に合った内容もあっていいのでは？同じ活動内容でも、少し難易度UPした感じがあってもいいのでは？職員さんたち人数にもよると思いますけど…。</li> </ul>	活動プログラムだけでなく、保護者様と信頼関係を築きながら、質の良い支援を提供していけるよう努めて参ります。
	18	事業所の支援に満足しているか	22				22	<ul style="list-style-type: none"> <li>・本当に助かっています。いつも有難うございます。</li> <li>・職員との信頼関係が構築出来ているので、安心して任せられるので満足しています。</li> </ul>	今後もお子様が安心、保護者様が安心して通所していただけるよう努めて参ります。

i 放課後等デイサービスを利用する個々の子どもについて、その有する能力、置かれている環境や日常生活全般の状況に関するアセスメントを通じて、総合的な支援目標及び達成時期、生活全般の質を向上させるための課題、支援の具体的内容、支援を提供する上での留意事項などを記載する計画のこと。放課後等デイサービス事業所の児童発達支援管理責任者が作成する。

ii 事業所の日々の支援の中で、一定の目的を持って行われる個々の活動のこと。子どもの障害特性や課題、平日／休日／長期休暇の別等に応じて柔軟に組み合わせて実施されることが想定されている。

## 事業者向け 放課後等デイサービス評価表（集計結果公表）

配布：7枚 回収：7枚 回収率：100%

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	無回答	合計	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・ 体制 整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	5	2			7	
	2	職員の配置数は適切であるか	6	1			7	
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか	4	1	2		7	お子様の特性に合わせた支援方法を日々模索しながら支援と向き合っていく。(例えば視覚的要素を取り入れた支援等)
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか	7				7	
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	6	1			7	
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	7				7	
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	5	2			7	昨年監査を実施し好評を頂いている。 引き続き、業務分担、書類の整理を行っている。
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	5	1	1		7	・事業所内研修を毎月行っている。 ⇒定期的な研修を取り入れている。スケジュールを掲示し、見通しを持っていただきながら行っていく。
適切な 支援の 提供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	6	1			7	
	10	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	5	2			7	支援の質の向上のため、定期的なモニタリングを実施し職員間での共通認識を持ち合わせた個別支援計画書を作成し、支援の方向性を明確化している。
	11	活動プログラムの立案をチームで行っているか	6	1			7	行事予定表は職員全員で話し合いながら決めている。
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	7				7	
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	6	1			7	専門職の方がお子様の課題についてカテゴリ別に集団を作り支援している。
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか	4	3			7	児発管だけの視点ではなく、職員全員で気づいたことの共有を行い、広い視野を持って支援の方向性を導いている。
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	7				7	
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	5	2			7	勤務が2パターンあるため、終了後の振り返りの時間の確保が難しいので、翌日の朝礼で行っている。 ⇒長期休暇以外は、次の日に前日の振り返りを行い、記録等も残し、公休だった職員が目を通し支援に入れるよう徹底している。
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	7				7	
	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	7				7	
関係 機関	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ支援を行っているか	6	1			7	虐待防止・身体拘束の防止など、法人内の委員会で取り決めた方法を基準としながらお子様の対応をしている。
	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	6	1			7	
	21	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか	7				7	
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか	1	3	2	1	7	・医療的ケア児の受け入れは行っていないので評価できない。 ⇒現状受け入れ予定はないが、今後のことも踏まえ情報共有できることはしていきたい。
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	5	2			7	支援員さんが共有してくださるそのお子様の資料を拝見し、就学前の情報を把握しながら利用に繋がるよう関係機関と調整を行っている。

や 保 護 者 と の 連 携	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか	4	3			7	定期的に支援員さんが来所され、お子様の様子を説明したり、気づき等発信する機会を設けている。児発管だけでなく、これまで共有しているお子様の特性や様子を説明できるように周知している。
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	2	5			7	相談支援事業所と密に連携を取り、研修のご案内を頂いている。
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	2	2	3		7	現状、児童クラブのお子様と相性が合わず事業所を選択し通われているお子様もおられますので、関係性も考慮し、適度な距離感を意識した支援にあたりたい。
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか		4	3		7	案内を頂いた際は積極的に参加したい。
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	7				7	
	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか	2	4	1		7	自事業所に有資格者がいない状況のためできていないが保護者様と毎日やり取りするため日々の悩みや支援の方向性など様々な対応力が身につくよう支援していきたい。
保 護 者 へ の 説 明 責 任 等	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	6	1			7	
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	5	2			7	その時その時の特性や拘り等マニュアル通りにいかないため、都度関わっている中で、最善の支援・方法を共有しながら支援の方向性を明確化していきたい。
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	2	2	3		7	今年度はフットサルの試合観戦に保護者様にも参加して頂きました。 ⇒保護者様と職員でお子様についてフランクにお話できる場を設けることで日々の不安や悩みを緩和できることができれば、開催する意味もあるかと思うため、親子レクなどの後にそういった場を設けることも視野に入れ計画していく。
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	6	1			7	
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	6	1			7	今後、Instagramでの情報発信を行っていく。 ⇒Instagramを活用しながら、活動の様子の発信、新規児童へ向けた事業所紹介等取り入れ有意義な活用方法を日々練っていく。
	35	個人情報に十分注意しているか	7				7	
	36	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	7				7	
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	2	3	2		7	
非 常 時 等 の 対 応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	7				7	
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	7				7	
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	7				7	
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	6	1			7	以前、強行児童が在籍していた際、同意書を用意し保護者様と密にやり取りをした上で計画書作成を行っていた。今後対象児童が出た際にも同じ対応をしていく。
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	7				7	
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	7				7	